

# まつやま 子規亭 □ 通信

## ～新春号～

まつやま子規亭 第4夜

平成31年2月9日(土) 18時開場(予定) 18時半開演 チケット販売中4000円

茂山逸平(狂言師) 日本の音は和らいの音 ～狂言で楽しむ日本の笑いと和の響き～

**狂言とは室町時代の庶民の日常ことばの会話劇です。**

狂言とは当時の人たちが話していた、ことばや笑いをユーモラスに再現する喜劇です。  
木に登ったつもり。石を投げたつもり。エアギターのように、物まねやごっこ遊びのように、そこに「あるつもり」で演じています。



### 柿山伏

お腹のすいた山伏が、道端の柿の木に登って柿を食べていたところを見つけた柿の木の主。腹をたてた主は木のかげに隠れた山伏のことををからかってやろうと、わざと「あれは鳥だ」、「猿だ」と声に出して言います。正体がばれないようにと山伏は、主が言うたびに鳴き声を真似するのですが・・・。

狂言とは便利なもので、何でもあるつもりで演技をします。そのつもりでの演技が十分に発揮されている狂言の一つです

### 棒縛り

主人の留守中に酒を盗み飲みする太郎冠者と次郎冠者。たまりかねた主人は次郎冠者を棒に、太郎冠者を後ろ手にしばって出掛けます。それでもなんとかして酒を飲もうと工夫を重ねる二人。ついに、酒にありつきますが・・・。

最も有名な狂言の一つにも数えられており、不自由な格好をしていても酒を飲もうとするところは、言葉無しでも分かるということで、海外公演では必ずと言っていいほど上演されます。



**狂言と歌舞伎音楽の豪華共演 歌舞伎囃子方・田中傳次郎さん出演**

狂言の楽しみ方についてレクチャーがあります。

初めての方も、よく知っている方も、お楽しみいただける一夜です。



### 茂山逸平さん

能楽師大蔵流狂言方・俳優

1979年京都府生まれ。

父・二世茂山七五三、祖父・四世茂山千作、曾祖父・三世茂山千作に師事。

1994年に、兄、宗彦、従兄弟の茂と「花形狂言少年隊」を結成し活躍する。

2000年からは、心・技・体、教育的古典狂言推進準備研修錬磨の会「TOPPA!」を千三郎、正邦、宗彦、茂、童司と共に主催。

2006年、文化庁新進芸術家海外研修制度の研修員としてフランス留学。

俳優としても、NHK連続テレビ小説『オードリー』、『ごちそうさん』、大河ドラマ『武蔵 MUSASHI』などに出演。